

日本医歯薬専門学校 令和2年度 学校関係者評価委員会 議事録

作成者: 矢野 裕己

日 時	令和2年6月7日(日) 10:00 ~ 12:00
場 所	日本医歯薬専門学校 201・202 教室
参 加 者	<p>●学校関係者評価委員会 委員 =敬称略=</p> <p><保護者代表> 淵上 真弓(歯科衛生士学科Ⅰ部3年生 祐衣 母)</p> <p><地域代表> 糟谷 一(杉並区町会連合会、高円寺中央地区町会連合会、高南二丁目町会)</p> <p><高等学校代表> 及川 勉(昭和第一学園高等学校 元校長)</p> <p><卒業生代表> 下里 保奈美(歯科衛生士学科Ⅱ部 卒業生)</p> <p><業界代表> 飯島 裕之(杉並区歯科医師会) ※遠隔にて出席</p> <p><業界代表> 富田 基子(東京都歯科衛生士会)</p> <p><業界代表> 長面川 さより(株ウォームハーツ) ※遠隔にて出席</p> <p><業界代表> 藤原 海斗(近藤眼科医院) ※遠隔にて出席</p> <p>●学校法人東京滋慶学園 関係職員</p> <p><理事長> 中村 道雄</p> <p><学校長> 須田 英明</p> <p><教育顧問> 近藤 健示</p> <p><事務局次長> 篠田 美和</p> <p><教務部長/デンタル学部学部長> 富田 恒雄</p> <p><教務部 メディカル学部学部長> 豊島 義人</p> <p><教務部 歯科衛生士学科長> 矢野 裕己</p> <p><キャリアセンター長> 今井 恭平</p> <p><学生サービスセンター長> 保科 英俊</p> <p><広報センター長> 奥田 直子 ※育児休暇中のため欠席</p>
議 題	進行: 篠田
1. はじめに (須田学校長)	<p>おはようございます。</p> <p>評価委員の皆様におかれましては、大変な社会情勢の中、日曜日にも関わらず、ご多忙のところ、学校関係者評価委員会にご出席いただきまして大変ありがとうございます。マスクを着用のままお話をさせていただきます。リモート参加していただいております先生方もよろしくお願ひいたします。公共交通機関を乗り継いで高円寺まで来ましたが、マスクをしていない人を探すのが難しかったです。以前、イギリスのグラスノ大学の講師に東京での講演をご依頼しましたが、日本にお招きしたのが春先だったため、花粉症の患者さんが多く、大勢の日本人がこの時期はマスクを着用していることに驚いていました。イギリスではマスクを着用する文化が全くないため、今回の新型コロナウイルスについても何万人もの犠牲者を出してしまいました。また、イギリスでは握手はもちろん、頬を寄せ合う文化がございますし、医療事情の変化もあって、日本に比べると深刻な状況が続いています。普段話している中で汚染飛沫を飛ばしながら話していることをあらためて認識する必要があると思います。マスクや手洗いをすることによってほかの感染症も大幅に減少するのではないかと想定しております。今後、国立感染症研究所や東京都の関連ページを注目して見ていただけたらと思います。本日は限られた時間ではありますが、皆様から忌憚ないご意見を頂戴して学校側としては真摯に受け止めて、教育システムの改善に役立たせていただきたいと思います。どうかこれからの時間よろしくお願ひいたします。</p>
2. 学園組織担当者紹介 (篠田)	各紹介
3. 学校関係者評価委員 ご紹介(篠田)	各代表者様ご紹介
4. 2019年度 事業報告(篠田)	【『2019年度日本医歯薬専門学校 学校関係者評価委員会』A4 資料参照】 組織目的の確認

【運営方針】

- ・入学定員数の充足
- ・学生満足度向上(教育の質向上)
- ・医療事務学科のリニューアル、メディア授業
入学定員の確保をするために学科リニューアル

- ・【広報】 学校全体 入学目標 250 名に対して、入学実績 245 名
目標に対して、-5 であるが、ほぼ計画通りの募集ができた
コロナウイルスの関係で、4 月以降に問い合わせが多数あった。
学校決定の早期化に伴い、進路決定まで長期化しているため、高校 2 年生からの早期
広報によりオープンキャンパスの参加者を増員することができ、入学生を確保することが
できた。
- ・【教育】 目標退学者率 4.3%(24 名) → 実績 退学者率 5.6%(31 名)
2018 年度と比較して、退学率を少し抑えることができたが、課題が残る結果となった。
過去には良い時で 3% 台に抑えることができたことがあるため、この時と同じような結果を
出せるようにすることが課題。
学力不安、モチベーション低下の学生に対して、何ができるかが課題。
歯科衛生士学科Ⅱ部は 3 年連続で 100% 合格を達成したことは自信を持っている。
歯科衛生士国家試験、視能訓練士国家試験 各 2~3 名ずつ不合格を出してしまった。
- ・【就職】 課題) 卒業学生数と就職者数に開きがある。学んだことを業界で活かしてもらうことが学校
のミッションだが、11%の学生が卒業した学科の専門職に就かないのが現状。
就職率 100%は 4 月に入ってからが現状となっている。
課題) 3 月の卒業式までに就職を決めるために、早期に内定させること、卒業生全員が
就職内定すること
離職率 1.3% ミスマッチがなく、就職した場所で就業継続できた学生がほとんどだった。

【質疑応答】

(下里) 就職希望していない学生の理由は何か

回答→ 出産、育児で就職しない学生がおり、落ち着いたら就職する学生がいた。
必ずしも 100%にすることがよいのかということはある。

(長面川) 離職率が上がっているが、キャリア教育の中で、教育の変化やサポートをしたことはあるか。

→ 業界訪問をし、今の業界の状況を踏まえてアドバイス、相談に乗っていた。
在学中から職業観に対する考え方をカウンセリングを通して対応していたため
離職率が向上したのではないかと考える。

(及川) 退学率が多かったが、細かい分析が必要なのではないか

→ 退学した学生の分析を毎年している。
学力不安からの意欲低下 38%、メンタル面 25%、併せて 55~61%
学費 19%、妊娠出産 6%、実習不適合 10% ※学生申告による退学理由
過去 3 年間、ほぼ比率は変わらない。
スクールカウンセラーと連携をしていく。
専門基礎分野(解剖学、生理学)に苦手意識をもつ学生が多い。
学力がついていない学生については、対策を考えている。
複合的な問題を抱えている学生が多くなっているため、どのようにサポートしていく
か考える必要がある。

(理事長) 高等教育の無償化の制度があるが、学生に紹介をしているのか。
 → 昨年度からこの制度が開始され、学生、保護者には案内している。
 利用できる条件を満たさなければ利用できないため、すべての学生が利用しているわけではない。対象にならなかった学生に対しては奨学金の案内をしている。
 奨学金利用希望者が年々増えている。
 昨年度は、移行期で国の制度の恩恵を受けられていないため、今後はクリアになると思われる。ただ、いつまでである制度化は不明である。

(学校長) 働きながら学んでいる学生が少なくないと思うが、来年度以降は学費困窮者が増えてくるのではないか。学校にアルバイト紹介をしているか問い合わせはあるのか。
 → 学校近郊の歯科医院に求人票を送付、50～80件の求人票が返送されてきている。アルバイトを希望している学生には電話またはメールで対応している。

(富田(基)) 志を貫いて、辞めない学生を育てていただきたい。
 口腔保健の大切さが国会でも話題にあがって浸透してきている。
 コロナウイルスについて感染リスクが高い職種は歯科衛生士と言われているが、歯科医院がクラスターになることも起きていない。

(糟谷) 学生の中には性格行動に問題があるのが現状。それでも一人でも退学してしまうのはやむを得ないが、その理由を把握、追跡できているのはよいことだと思う。
 面倒見のよい学校という印象を受けた。
 高校2年の2月には進路を決めているため、2年生の秋がカギになる。
 今年度も引き続き、取り組んでいきたい。

5. 2019年度
 自己点検・自己評価
 (篠田・富田・豊島・
 保科・矢野)

【資料『2019年度日本医歯薬専門学校 学校関係者評価委員会 自己点検・自己評価』参照】
 (会議内でのご説明は会議資料の内容とさせていただきます、委員の皆様には、質疑応答をいただくと共に、ご意見・評価をご提出いただく)

- ・1. 教育理念・目的・育成人材像(1-1-1・1-1-2・1-1-3・1-1-4)
- ・2. 学校運営(2-2-2-3・2-4・2-5・2-6・2-7)
 情報システム化により、残業時間削減、働き方改革を行い、成果を上げている。
- ・3. 教育活動(3-8-1・3-8-2・3-9-1・3-9-2・3-9-3・3-9-4・3-10・3-11・3-12-1・3-12-2・3-12-3)
 3-8-1 授業改善のためのプロジェクトが組織化されている。
 3-10 成績評価が変更 → GPT評価に変更された
 3-12-3 2019年度内に2020年度開講に向けて、講師会議を実施する予定だったが、コロナウイルスの影響により、中止となった。
 2020年度に実施計画を立て、非常勤講師との連携、協力体制を構築する。
- ・4. 教育成果(4-13・4-14・4-15)
 4-13 入学者が卒業時に8割以上就職していることが求められている。
 社会人基礎力を身につけるための支援が必要なため、キャリアコンサルタントを配置し、勤労観の育成を強化していきたい。
- ・5. 学生支援(5-16・5-17・5-18・5-19-1・5-19-2・5-19-3・5-19-4・5-20・5-21)
 5-17 進路変更の学生3名 同分野で学び方を変える、他分野へ進路変更をした学生もいた。自身の方向性をきちんと確認したうえでサポートすることを継続していきたい。
- ・6. 教育環境(6-22・6-23・6-24)
- ・7. 学生の募集と受け入れ((7-25・7-26・7-27)
- ・8. 財務(8-28-1・8-28-2・8-29・8-30・8-31)
- ・9. 法令等の遵守(9-32・9-33・9-34-1・9-34-2・9-34-3・9-34-4・9-35)
- ・10. 社会貢献(10-36-1・10-36-2・10-37)

	<p>イベントに参加すること以外の地域貢献をすることができるか検討したいと考えている。</p>
<p>6. 質疑応答(篠田)</p>	<p>(粕谷) 【情報提供】</p> <p>防災) 杉並第8小学校が閉校になり、教室や体育館を利用することは可能。 来年4月から校舎の解体工事が始まる 杉並第8小学校跡地に、図書館ができる予定。(高円寺図書館が移動してくる) 高齢者・子どもへの対策を考えていたが、保育園のみができる予定。 行政使用できる部屋(広い会議室)ができる ※令和5~6年頃 避難所として、高円寺体育館(環七沿い)、高円寺女子学園のグラウンドが第一避難所として利用できるようになる(令和3年4月以降)</p> <p>イベント) 高円寺阿波おどりは中止。地元連のみで小規模で実施を検討中 高円寺フェス、ふれあい運動会の中止もありうる。</p> <p>(淵上) オンライン授業を行っているが、きめ細かな対応をしていただいていると感じた。 保護者としても何かしらのサポートを家庭でしていかなければいけないと感じました。</p> <p>(及川) 今年度の対策として、広報活動を行ううえでは、安心、安全な環境、学校だということを 明確に打ち出して、数値化、見える化をしていくことが必要と考える。</p> <p>(下里) コロナウイルスの影響で歯科衛生士になりたい人が減ってしまうのではないかと懸念される が、現状はどうなっているのか。何か対策を行っているのか。 →学校の資料請求者数に変わりはない。仕事のやりがいなどをどのように伝えていくかを 注力していきたい。 オープンキャンパス時に、安心安全な学校である、感染リスクの高い職種ではあるが、 きちんと学べば感染は防げるということを強調していくとよい。</p> <p>(飯島) 教職員のテレワークはどのように行っているのか。入学式、卒業式が中止になって、学生の モチベーションが低下されていないか → 通常のスタッフの数を3割減で出勤、週1回はテレワークができるようにしている。 卒業式は学内で学科ごとに実施することができた。 入学式は、まだ実際に登校していないため担任と対面していないのが現状だが、 オンライン上でコミュニケーションを図っている。</p> <p>(富田(基)) 数日前から診療をし始めたが、ようやく普通の日常に戻ってきた。 歯科衛生士に緊急アンケートを実施したが、不安に思いながらも仕事をしていることが 分かった。</p> <p>(藤原) オンライン授業により、今年の在校生だけ不利益にならないように対応してほしい。 →不利益にならないように対応していきたいが、その際にはご相談させてください。</p> <p>(長面川) 5-16 学生の進路 病院の収入が減少しているため、人事を見直している。 就職活動が遅れたり、変化が生じると思われるため、対策を検討する必要があるのでは ないかと考える。</p> <p>(近藤顧問) 避難所までの距離がかなりあるが、他にないのか。 →(糟谷様) 環七通りを通って、立正佼成会の方まで行き、和田堀公園が指定場所 道路状況がよくても杉並第十小学校まで行く必要がある。 緊急物資が届くのは、高円寺体育館。 蚕糸の森が第2避難場所になるのではないかと。</p>
<p>7. 事務連絡(篠田)</p>	<p>・評価シート記入・提出について ・日当交通費について ・評価シート、日当交通費提出期限;2週間以内に、郵送、遠隔でご出席の方はメールにて篠田宛に</p>

データでご提出いただけますようお願いいたします。

8. おわりに
(中村理事長)

コロナウイルス感染予防のため、大変お忙しいところ、長時間にわたりご出席賜りましてありがとうございます。大変勇気をいただくお言葉を頂戴し、感激しております。

一番大事なことは、学生に迷惑をかけない、学生が業界で仕事をするために知識と技術をしっかり身につけ、国家試験に合格してもらうことが私たちの願いであります。そういう観点から教職員はリモート教育を苦勞をして行って、通常の業務の3倍大変な思いをしているが、そういう点を十分ご理解いただき貴重なご意見をいただき、私たちは勇気をいただきました。皆様からいただいたご意見をしっかりと取り入れていきたいと思えます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

以上